

表 C-1-10 NCM の取り組み（ITA 総合得点、単変量回帰分析）

		ITA合計得点				オッズ比(95%CI)	p値
		低値<93=0 (n=247)		93≤高値=1 (n=236)			
		n	%	n	%		
介護支援専門員あるいは管理栄養士は、サービスの提供に際して、施設サービス計画に併せて、栄養ケア計画を入所者又は家族に説明し、サービス提供に関する同意を得ている	できていない	14	2.9%	2	0.4%	1	-
	できている	233	48.2%	234	48.4%	7.00(1.57-31.14)	0.01
管理栄養士は、栄養ケア計画に基づいて担当者が、栄養ケア計画に基づいたサービスの提供を行っていることを確認している	できていない	63	13.0%	21	4.3%	1	-
	できている	184	38.1%	215	44.5%	3.50(2.06-5.97)	p<0.001
栄養ケア計画の実施過程において、問題の把握を行い、問題があれば随時多職種と連携し、問題の解決や計画の修正を行っている	できていない	30	6.2%	10	2.1%	1	-
	できている	217	44.9%	226	46.8%	3.12(1.48-6.57)	0.003
管理栄養士は、食事に関するインシデント・アクシデントの事例等の把握をしている	できていない	70	14.5%	37	7.7%	1	-
	できている	177	36.6%	199	41.2%	2.12(1.35-3.32)	0.001
モニタリングは、低栄養状態の高リスク者及び栄養補給法の移行の必要性がある者の場合には、2週間毎等適宜行っている	できていない	77	15.9%	41	8.5%	1	-
	できている	170	35.2%	194	40.2%	2.14(1.39-3.29)	0.001
栄養スクリーニングに基づき、低リスク者と判断された場合でも、体重は1ヶ月毎に把握している	できていない	4	0.8%	4	0.8%	1	-
	できている	243	50.3%	232	48.0%	0.94(0.23-3.82)	0.94
低栄養状態の把握に必要な食事摂取量の低下等の変化などを、日常的にモニタリングし、問題があれば対応をしている	できていない	18	3.7%	8	1.7%	1	-
	できている	229	47.4%	228	47.2%	2.24(0.95-5.25)	0.07
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	50	10.4%	18	3.7%	1	-
	できている	197	40.8%	218	45.1%	3.06(1.73-5.43)	p<0.001
利用者特性、BMI、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量等をエクセル等の電子ファイルでデータベース化している	できていない	88	18.2%	67	13.9%	1	-
	できている	159	32.9%	169	35.0%	1.43(0.97-2.12)	0.07
管理栄養士は、上記の栄養リスクの項目について、定期的に集計し評価している	できていない	67	13.9%	49	10.1%	1	-
	できている	180	37.3%	187	38.7%	1.43(0.94-2.18)	0.10
管理栄養士は、入所者の生活機能・身体機能、主観的健康感、栄養ケアに対する満足度等の変化を評価し、記録している	できていない	130	26.9%	86	17.8%	1	-
	できている	117	24.2%	150	31.1%	1.94(1.34-2.79)	p<0.001
栄養ケア・マネジメント体制に基づくサービスを総合的に評価し、その構造、手順および成果等の課題について多職種で話し合っている	できていない	156	32.3%	81	16.8%	1	-
	できている	91	18.8%	155	32.1%	3.28(2.26-4.77)	p<0.001
栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録（文章化）し、継続的な品質改善活動に努めている	できていない	138	28.6%	73	15.1%	1	-
	できている	108	22.4%	163	33.7%	2.85(1.96-4.14)	p<0.001

表 C-1-11 NCM の取り組み（組織構造の柔軟さ、多重ロジスティック回帰分析）

		組織構造の柔軟さ合計点 低値<38=0(n=241) 38≤高値=1(n=242)	
		オッズ比(95%CI)	p値
栄養ケア・マネジメントの成果として栄養ケア計画に設定された本人の要望が最重要な目標であるという認識が広まっている	できていない	1	-
	できている	2.21(1.41-3.46)	0.001
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	できていない	1	-
	できている	2.66(1.41-4.99)	0.002
認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	できていない	1	-
	できている	2.23(1.44-3.54)	<0.001
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントに関して他職種の理解が深まるように説明や指導をし、連携に寄与している	できていない	1	-
	できている	2.51(1.57-4.01)	<0.001
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	1	-
	できている	2.38(1.29-4.40)	0.006

表 C-1-12 NCM の取り組み（ケアのプロセスと実践度、多重ロジスティック回帰分析）

		ケアのプロセスと実践度合計点 低値<30=0(n=272) 30≤高値=1(n=211)	
		オッズ比(95%CI)	p値
施設長は、医師、管理栄養士、看護師及び介護支援専門員その他の職種が協働して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備している	できていない	1	-
	できている	1.98(1.01-3.86)	0.05
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	できていない	1	-
	できている	2.37(1.24-4.54)	0.009
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントを実践する上で必要な施設内外の研修や研究会へ積極的に参加している	できていない	1	-
	できている	1.68(1.05-2.68)	0.03
認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	できていない	1	-
	できている	1.70(1.09-2.65)	0.02
管理栄養士は、食事の提供にあたり、給食業務の実際の責任者としての役割を担う者（管理栄養士、栄養士、調理師等）に対して、栄養ケア計画に基づいた個別対応した食事の提供ができるように説明、指導し、連携して取り組んでいる	できていない	1	-
	できている	2.51(1.15-5.48)	0.02
介護支援専門員あるいは管理栄養士は、サービスの提供に際して、施設サービス計画に併せて、栄養ケア計画を入所者又は家族に説明し、サービス提供に関する同意を得ている	できていない	1	-
	できている	10.83(1.34-87.7)	0.03
モニタリングは、低栄養状態の高リスク者及び栄養補給法の移行の必要性がある者の場合には、2週間毎等適宜行っている	できていない	1	-
	できている	1.65(1.00-2.73)	0.05
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	1	-
	できている	2.16(1.14-4.12)	0.02
栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録（文章化）し、継続的な品質改善活動に努めている	できていない	1	-
	できている	2.44(1.62-3.68)	<0.001

表 C-1-13 NCM の取り組み（メンバーの凝集性と能力、多重ロジスティック回帰分析）

		メンバーの凝集性合計点 低値<23=0(n=213) 23≤高値=1(n=270)	
		オッズ比(95%CI)	p値
「食べること」を通じて、チームで入所者一人一人の自己実現をめざしている	できていない	1	-
	できている	2.20(1.03-4.71)	0.04
栄養ケア・マネジメントの成果として栄養ケア計画に設定された本人の要望が最重要な目標であるという認識が広まっている	できていない	1	-
	できている	2.55(1.56-4.17)	<0.001
施設長は、医師、管理栄養士、看護師及び介護支援専門員その他の職種が協働して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備している	できていない	1	-
	できている	3.24(1.56-6.74)	0.002
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	できていない	1	-
	できている	3.28(1.71-6.27)	<0.001
認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	できていない	1	-
	できている	1.97(1.23-3.16)	0.005
管理栄養士は、食事記録以外の他職種の記録（介護・看護日誌、排便記録、薬処方箋等）から、解決すべき課題を把握している	できていない	1	-
	できている	1.79(1.08-2.96)	0.03
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	1	-
	できている	2.59(1.36-4.82)	0.004
栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録（文章化）し、継続的な品質改善活動に努めている	できていない	1	-
	できている	2.16(1.38-3.39)	0.001

表 C-1-14 NCM の取り組み（ITA 合計得点、多重ロジスティック回帰分析）

		ITA合計点 低値<93=0(n=247) 93≤高値=1(n=236)	
		オッズ比(95%CI)	p値
栄養ケア・マネジメントの成果として栄養ケア計画に設定された本人の要望が最重要な目標であるという認識が広まっている	できていない	1	-
	できている	2.25(1.39-3.65)	0.001
施設長は、医師、管理栄養士、看護師及び介護支援専門員その他の職種が協働して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備している	できていない	1	-
	できている	2.07(1.02-4.21)	0.04
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	できていない	1	-
	できている	2.76(1.42-5.38)	0.003
認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	できていない	1	-
	できている	1.94(1.23-3.06)	0.004
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントに関して他職種の理解が深まるように説明や指導をし、連携に寄与している	できていない	1	-
	できている	1.76(1.07-2.89)	0.03
介護支援専門員あるいは管理栄養士は、サービスの提供に際して、施設サービス計画に併せて、栄養ケア計画を入所者又は家族に説明	できていない	1	-
	できている	5.42(1.08-27.10)	0.04
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	1	-
	できている	2.53(1.34-4.79)	0.004
栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録（文章化）し、継続的な品質改善活動に努めている	できていない	1	-
	できている	1.89(1.23-2.92)	0.004

表 C-1-15 NCM の取り組み一覧表

	組織構造 の柔軟さ	ケアのプロセ スの実践度	メンバー の凝集性	ITA合計 得点
「食べること」を通じて、チームで入所者一人一人の自己実現をめざしている			○	
栄養ケア・マネジメントの成果として栄養ケア計画に設定された本人の要望が最重要な目標であるという認識が広まっている	◎		☆	◎
施設長は、医師、管理栄養士、看護師及び介護支援専門員その他の職種が協働して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備している		○	◎	○
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	◎	◎	☆	◎
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントを実践する上で必要な施設内外の研修や研究会へ積極的に参加している		○		
認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	☆	○	◎	◎
管理栄養士は、食事の提供にあたり、給食業務の実際の責任者としての役割を担う者(管理栄養士、栄養士、調理師等)に対して、栄養ケア計画に基づいた個別対応した食事の提供ができるように説明、指導し、連携して取り組んでいる		○		
管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントに関して他職種の理解が深まるように説明や指導をし、連携に寄与している	☆			○
管理栄養士は、食事記録以外の他職種の記録(介護・看護日誌、排便記録、薬処方箋等)から、解決すべき課題を把握している			○	
介護支援専門員あるいは管理栄養士は、サービスの提供に際して、施設サービス計画に併せて、栄養ケア計画を入所者又は家族に説明し、サービス提供に関する同意を得ている		○		○
モニタリングは、低栄養状態の高リスク者及び栄養補給法の移行の必要性がある者の場合には、2週間毎等適宜行っている		○		
管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	◎	○	◎	◎
栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録(文章化)し、継続的な品質改善活動に努めている		☆	◎	◎

○ ; p < 0.05 ◎ ; p < 0.01 ☆ ; p < 0.001

表 C-2-1 施設特性

	特養 n=96		老健 n=75		合計 n=171	
	n	%	n	%	n	%
法人の種類						
医療法人	0	0	54	71.1	54	31.4
社会福祉法人	95	97.9	15	19.7	110	64
その他	0	0	6	7.9	6	3.5
定員数階級						
50人以下	26	26.8	3	3.9	29	16.9
51～100人	56	57.7	58	76.3	114	66.3
101～150人	11	11.3	13	17.1	24	14
151～200人	0	0	1	1.3	1	0.6
201人以上	1	1	0	0	1	0.6
要介護度階級						
2.5以下	0	0	0	0	0	0
2.5～3.0	0	0	15	19.7	15	8.7
3.0～3.5	9	9.3	41	53.9	50	29.1
3.5～4.0	53	54.6	15	19.7	68	39.5
4.0～4.5	33	34	2	2.6	35	20.3
4.5～5.0	0	0	0	0	0	0
ユニットケアの実施状況						
ユニット型	11	11.3	1	1.3	12	7
一部ユニット型	19	19.6	6	7.9	25	14.5
実施していない	64	66	67	88.2	131	76.2

表 C-2-2 NCM 関連加算施設

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
栄養マネジメント加算	95	100.0	73	100.0	168	100.0
経口移行加算	6	6.3	15	20.0	21	12.3
経口維持加算 I	5	5.2	5	6.7	10	5.8
経口維持加算 II	22	22.9	19	25.3	41	24.0

表 C-2-3-1 管理栄養士の特性

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
性別						
男性	1	1.0	4	5.3	5	2.9
女性	95	99.0	71	94.7	166	97.1
年齢階級						
20歳代	17	17.7	23	30.7	40	23.4
30歳代	30	31.3	24	32.0	54	31.6
40歳代	26	27.1	18	24.0	44	25.7
50歳代	20	20.8	9	12.0	29	17.0
60歳代以上	3	3.1	1	1.3	4	2.3
所属の部署						
栄養単独の部署 (施設長直属も含む)	80	83.3	63	84.0	143	83.6
看護・介護等と 合同の部署	6	6.3	5	6.7	11	6.4
その他	8	8.3	5	6.7	13	7.6
経験年数階級						
1年未満	2	2.1	5	6.7	7	4.1
1～3年未満	9	9.4	12	16.0	21	12.3
3～5年未満	12	12.5	12	16.0	24	14.0
5～10年未満	24	25.0	19	25.3	43	25.1
10年以上	45	46.9	23	30.7	68	39.8
勤務年数階級						
1年未満	7	7.3	6	8.0	13	7.6
1～3年未満	16	16.7	16	21.3	32	18.7
3～5年未満	16	16.7	13	17.3	29	17.0
5～10年未満	30	31.3	22	29.3	52	30.4
10年以上	26	27.1	17	22.7	43	25.1

表 C-2-3-2 看護師の特性

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
性別						
無回答	2	2.1	1	1.3	3	1.8
男性	3	3.1	5	6.7	8	4.7
女性	91	94.8	69	92.0	160	93.6
年齢階級						
20歳代	3	3.1	0	0.0	3	1.8
30歳代	16	16.7	17	22.7	33	19.3
40歳代	33	34.4	26	34.7	59	34.5
50歳代	38	39.6	26	34.7	64	37.4
60歳代以上	6	6.3	6	8.0	12	7.0
現在の職種と職位						
無回答	2	2.1	1	1.3	3	1.8
看護師長	17	17.7	33	44.0	50	29.2
看護師主任	41	42.7	28	37.3	69	40.4
看護師スタッフ	30	31.3	11	14.7	41	24.0
その他	6	6.3	2	2.7	8	4.7
経験年数階級						
無回答	2	2.1	1	1.3	2	1.2
1年未満	0	0.0	1	1.3	1	0.6
1～3年未満	1	1.0	0	0.0	2	1.2
3～5年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5～10年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10年以上	93	96.9	73	97.3	166	97.1
勤務年数階級						
1年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1～3年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3～5年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5～10年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10年以上	96	100.0	75	100.0	171	100.0

表 C-2-3-3 介護職の特性

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
性別						
無回答	0	0.0	1	1.3	1	0.6
男性	37	38.5	31	41.3	68	39.8
女性	59	61.5	43	57.3	102	59.6
年齢階級						
20歳代	10	10.4	7	9.3	17	9.9
30歳代	48	50.0	42	56.0	90	52.6
40歳代	18	18.8	13	17.3	31	18.1
50歳代	19	19.8	11	14.7	30	17.5
60歳代以上	1	1.0	2	2.7	3	1.8
現在の職種と職位						
無回答	0	0.0	2	2.7	2	1.2
管理職	22	22.9	29	38.7	51	29.8
介護スタッフ	70	72.9	39	52.0	109	63.7
その他	4	4.2	5	6.7	9	5.3
経験年数階級						
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1年未満	2	2.1	0	0.0	2	1.2
1～3年未満	1	1.0	0	0.0	1	0.6
3～5年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5～10年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10年以上	93	96.9	75	100.0	168	98.2
勤務年数階級						
無回答	1	1.0	0	0.0	1	0.6
1年未満	2	2.1	0	0.0	2	1.2
1～3年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3～5年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5～10年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10年以上	93	96.9	75	100.0	168	98.2

表 C-2-3-4 介護支援専門員の特性

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
性別						
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
男性	36	37.5	24	32.0	60	35.1
女性	60	62.5	51	68.0	111	64.9
年齢階級						
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20歳代	3	3.1	1	1.3	4	2.3
30歳代	41	42.7	29	38.7	70	40.9
40歳代	25	26.0	22	29.3	47	27.5
50歳代	22	22.9	20	26.7	42	24.6
60歳代以上	5	5.2	3	4.0	8	4.7
基本資格						
1 介護福祉士	74	77.1	46	61.3	120	70.2
2 看護師	5	5.2	12	16.0	17	9.9
3 社会福祉士	8	8.3	8	10.7	16	9.4
4 精神保健福祉士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 医師	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 歯科医師	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7 薬剤師	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 助産師	0	0.0	1	1.3	1	0.6
10 准看護師	3	3.1	6	8.0	9	5.3
11 理学療法士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12 作業療法士	0	0.0	1	1.3	1	0.6
13 管理栄養士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14 栄養士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15 歯科衛生士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16 言語聴覚士	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17 その他	6	6.3	4	5.3	10	5.8
経験年数階級						
無回答	3	3.1	0	0.0	3	1.8
1年未満	8	8.3	4	5.3	12	7.0
1～3年未満	15	15.6	23	30.7	38	22.2
3～5年未満	22	22.9	13	17.3	35	20.5
5～10年未満	36	37.5	28	37.3	64	37.4
10年以上	12	12.5	7	9.3	19	11.1
勤務年数階級						
無回答	2	2.1	0	0.0	2	1.2
1年未満	3	3.1	2	2.7	5	2.9
1～3年未満	5	5.2	9	12.0	14	8.2
3～5年未満	9	9.4	12	16.0	21	12.3
5～10年未満	26	27.1	27	36.0	53	31.0
10年以上	51	53.1	25	33.3	76	44.4

表 C-2-3-5 口腔ケア担当者の特性

	特養		老健		合計	
	n	%	n	%	n	%
性別						
無回答	2	2.1	0	0.0	2	1.2
男性	21	21.9	19	25.3	40	23.4
女性	73	76.0	56	74.7	129	75.4
年齢階級						
無回答	1	1.0	0	0.0	1	0.6
20歳代	12	12.5	11	14.7	23	13.5
30歳代	30	31.3	31	41.3	61	35.7
40歳代	29	30.2	16	21.3	45	26.3
50歳代	20	20.8	14	18.7	34	19.9
60歳代以上	4	4.2	3	4.0	7	4.1
所属の部署						
無回答	5	5.2	3	4.0	8	4.7
看護・介護等と 合同の部署	79	82.3	50	66.7	129	75.4
その他	12	12.5	22	29.3	34	19.9
職種						
歯科衛生士	7	7.3	2	2.7	9	5.3
看護師	28	29.2	26	34.7	54	31.6
介護福祉士	43	44.8	24	32.0	67	39.2
その他の介護 スタッフ	8	8.3	5	6.7	13	7.6
その他	11	11.5	21	28.0	32	18.7
経験年数階級						
無回答	2	2.1	1	1.3	3	1.8
1年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1～3年未満	5	5.2	6	8.0	11	6.4
3～5年未満	10	10.4	8	10.7	18	10.5
5～10年未満	38	39.6	25	33.3	63	36.8
10年以上	41	42.7	35	46.7	76	44.4
勤務年数階級						
無回答	3	3.1	0	0.0	3	1.8
1年未満	4	4.2	1	1.3	5	2.9
1～3年未満	13	13.5	16	21.3	29	17.0
3～5年未満	13	13.5	12	16.0	25	14.6
5～10年未満	38	39.6	25	33.3	63	36.8
10年以上	25	26.0	21	28.0	46	26.9

表 C-2-4 ITA 実践評価尺度の相関性

「ITA実践評価尺度」の相関性 (n=171) Spearman

S 職種 合計	S職種合計		管理栄養士				看護師				介護職				介護支援専門員				口腔ケア担当者				
	ITA総合得点	相関係数	ITA合計	組織構造の 柔軟性合計	ケアのプロ セスと実践 度合計	メンバーの 凝集性と能 力合計	NITA合計	M組織構造の 柔軟性合計	Nケアのプロ セスと実践 度合計	Mメンバーの 凝集性と能 力合計	WITA合計	M組織構造の 柔軟性合計	Wケアのプロ セスと実践 度合計	Mメンバーの 凝集性と能 力合計	MITA合計	M組織構造の 柔軟性合計	Mケアのプロ セスと実践 度合計	Mメンバーの 凝集性と能 力合計	OITA合計	O組織構造の 柔軟性合計	Oケアのプロ セスと実践 度合計	Oメンバーの 凝集性と能 力合計	
	有意水準 (両側) N																						
管理 栄養 士	ITA総合得点	相関係数	1.000																				
		有意水準	.																				
		(両側)	171																				
		N																					
看護 師	ITA合計	相関係数	.662	1.000																			
		有意水準	.000	.																			
		(両側)	171	171																			
		N																					
介護 職	組織構造の 柔軟性合計	相関係数	.593	.898	1.000																		
		有意水準	.000	.000	.																		
		(両側)	171	171	171																		
		N																					
介護 支援 専門 員	ケアのプロ セスと実践 度合計	相関係数	.242	.738	.738	1.000																	
		有意水準	.000	.000	.000	.																	
		(両側)	171	171	171	171																	
		N																					
口 腔 ケ ア 担 当 者	メンバーの 凝集性と能 力合計	相関係数	.481	.892	.738	.738	1.000																
		有意水準	.000	.000	.000	.000	.																
		(両側)	171	171	171	171	171																
		N																					

※ 相関の強さ
 ±0.7～±1 強い相関がある
 ±0.4～±0.7 中程度の相関がある
 ±0.2～±0.4 弱い相関がある
 ±0.0～±0.2 (ほとんど相関がない)

表 C-2-5-1 NCM 体制（加算の取得と体制，単変量回帰分析）

		学際的チームアプローチ評価尺度*得点				オッズ比(95%CI)	p値
		470点未満		470点以上			
		n	%	n	%		
経口移行加算	なし	53	31.0%	58	33.9%	1	-
	あり	9	5.3%	12	7.0%	1.46(0.55-3.88)	0.452
経口維持加算Ⅰ	なし	58	33.9%	62	36.3%	1	-
	あり	4	2.3%	6	3.5%	1.47(0.39-5.56)	0.568
経口維持加算Ⅱ	なし	46	26.9%	48	28.1%	1	-
	あり	20	11.7%	21	12.3%	1.03(0.49-2.17)	0.928
管理栄養士の配置人数	2人未満	79	46.2%	68	39.8%	1	-
	2人以上	7	4.1%	17	9.9%	3.09(1.19-8.04)	0.020

表 C-2-5-2 NCM 体制（サービス担当者会議・ケース会議への管理栄養士の出席状況と栄養ケアプランの作成，単変量回帰分析）

		学際的チームアプローチ評価尺度*得点				オッズ比(95%CI)	p値
		470点未満		470点以上			
		n	%	n	%		
管理栄養士のサービス担当者会議への出席	必ずではない	15	8.8%	11	6.4%	1	-
	必ず	70	40.9%	72	42.1%	1.43(0.61-3.35)	0.413
管理栄養士のケース会議への出席	必ずではない	49	28.7%	38	22.2%	1	-
	必ず	37	21.6%	46	26.9%	1.58(0.86-2.92)	0.139
病院からの入院情報について課題になった会議への管理栄養士の参加	必ずではない	32	18.7%	27	15.8%	1	-
	必ず	48	28.1%	56	32.7%	1.35(0.71-2.58)	0.358
栄養ケアプランについて、単独で作成していますか、それとも施設サービス計画書に取り込んでいますか。	単独	57	33.3%	47	27.5%	1	-
	取り込んでいる	23	13.5%	28	16.4%	1.57(0.79-3.12)	0.195

表 C-2-5-3 管理栄養士が考える NCM 推進上の課題①（単変量回帰分析）

		学際的チームアプローチ評価尺度 [※] 得点				オッズ比(95%CI)	p値
		470点未満		470点以上			
		n	%	n	%		
1 施設長の姿勢や理解が課題と感じている	なし	74	43.3%	81	47.4%	1	-
	あり	12	7.0%	4	2.3%	0.29(0.09-0.94)	0.039
2 医師の姿勢や理解が課題と感じている	なし	66	38.6%	70	40.9%	1	-
	あり	20	11.7%	15	8.8%	0.63(0.29-1.36)	0.238
3 介護支援専門員の姿勢や理解が課題と感じている	なし	71	41.5%	82	48.0%	1	-
	あり	15	8.8%	3	1.8%	0.16(0.04-0.59)	0.006
4 管理栄養士の姿勢や理解が課題と感じている	なし	73	42.7%	78	45.6%	1	-
	あり	13	7.6%	7	4.1%	0.5(0.19-1.34)	0.168
5 看護師の姿勢や理解が課題と感じている	なし	64	37.4%	74	43.3%	1	-
	あり	22	12.9%	11	6.4%	0.42(0.19-0.94)	0.036
6 介護職の姿勢や理解が課題と感じている	なし	57	33.3%	71	41.5%	1	-
	あり	29	17.0%	14	8.2%	0.38(0.18-0.78)	0.009
7 ②～⑥以外の職種の姿勢や理解が課題と感じている	なし	83	48.5%	83	48.5%	1	-
	あり	3	1.8%	2	1.2%	0.72(0.12-4.49)	0.726
8 委託業者との連携体制が課題と感じている	なし	60	35.1%	70	40.9%	1	-
	あり	26	15.2%	15	8.8%	0.53(0.25-1.09)	0.086
9 行政関係者の姿勢や理解が課題と感じている	なし	76	44.4%	82	48.0%	1	-
	あり	10	5.8%	3	1.8%	0.28(0.07-1.05)	0.059
10 担当者会議の機能が課題と感じている	なし	69	40.4%	78	45.6%	1	-
	あり	17	9.9%	7	4.1%	0.31(0.12-0.81)	0.017
11 人員の配置や不足が課題と感じている	なし	58	33.9%	57	33.3%	1	-
	あり	28	16.4%	28	16.4%	1(0.52-1.9)	0.992
12 時間外業務の増大が課題と感じている	なし	67	39.2%	61	35.7%	1	-
	あり	19	11.1%	24	14.0%	1.26(0.62-2.56)	0.524
13 管理栄養士の疲労感の増大が課題と感じている	なし	70	40.9%	71	41.5%	1	-
	あり	16	9.4%	14	8.2%	0.75(0.33-1.69)	0.488
14 食事の個別化が課題と感じている	なし	36	21.1%	51	29.8%	1	-
	あり	50	29.2%	34	19.9%	0.49(0.26-0.9)	0.022
15 コンピュータの導入が未整備であることを課題と感じている	なし	74	43.3%	74	43.3%	1	-
	あり	12	7.0%	11	6.4%	0.94(0.39-2.27)	0.886

表 C-2-5-4 管理栄養士が考える NCM 推進上の課題②（単変量回帰分析）

		学際的チームアプローチ評価尺度*得点				オッズ比(95%CI)	p値
		470点未満		470点以上			
		n	%	n	%		
16 車椅子や仰臥位の体重計が未整備であることを課題と感じている	なし	80	46.8%	81	47.4%	1	-
	あり	6	3.5%	4	2.3%	0.64(0.17-2.38)	0.506
17 摂食・嚥下機能評価体制の未整備が課題と感じている	なし	53	31.0%	53	31.0%	1	-
	あり	33	19.3%	32	18.7%	0.95(0.51-1.77)	0.874
18 言語聴覚士の未配置が課題と感じている	なし	64	37.4%	62	36.3%	1	-
	あり	22	12.9%	23	13.5%	1.12(0.56-2.23)	0.748
19 情報連携体制が課題と感じている	なし	65	38.0%	75	43.9%	1	-
	あり	21	12.3%	10	5.8%	0.43(0.19-0.98)	0.044
20 管理栄養士の栄養ケア・マネジメントに関する知識や技術の不足が課題と感じている	なし	45	26.3%	61	35.7%	1	-
	あり	41	24.0%	24	14.0%	0.4(0.21-0.77)	0.006
21 管理栄養士のマネジメント能力の不足が課題と感じている	なし	50	29.2%	61	35.7%	1	-
	あり	36	21.1%	24	14.0%	0.53(0.28-1.01)	0.054
22 管理栄養士のコミュニケーション能力の不足が課題と感じている	なし	63	36.8%	77	45.0%	1	-
	あり	23	13.5%	8	4.7%	0.27(0.11-0.66)	0.004
23 摂食・嚥下食の対応が課題と感じている	なし	44	25.7%	45	26.3%	1	-
	あり	42	24.6%	40	23.4%	0.99(0.54-1.82)	0.968
24 管理栄養士の認知症に関する知識や技術の不足が課題と感じている	なし	47	27.5%	57	33.3%	1	-
	あり	39	22.8%	28	16.4%	0.61(0.33-1.15)	0.125
25 管理栄養士のエンド・オブ・ライフに関する知識や技術の不足が課題と感じている	なし	51	29.8%	48	28.1%	1	-
	あり	35	20.5%	37	21.6%	1.13(0.61-2.09)	0.693
26 医療機関との連携が課題と感じている	なし	69	40.4%	66	38.6%	1	-
	あり	17	9.9%	19	11.1%	1.06(0.5-2.24)	0.884
27 地域との連携が課題と感じている	なし	79	46.2%	77	45.0%	1	-
	あり	7	4.1%	8	4.7%	1.15(0.39-3.35)	0.797
28 問題と感じていることはない	なし	86	50.3%	85	49.7%	1	-
	あり	0	0.0%	0	0.0%	-	-
29 その他	なし	81	47.4%	83	48.5%	1	-
	あり	5	2.9%	2	1.2%	0.38(0.07-2.05)	0.263

表 C-2-5-5 管理栄養士が考える NCM 推進上の課題（多重ロジスティック回帰分析）

		ITA総合得点 470点未満=1(n=86) 470点以上=2(n=85)	
		オッズ比(95%CI)	p値
介護支援専門員の姿勢や理解が課題と感じている	なし	1	-
	あり	0.19(0.05-0.70)	0.013
食事の個別化が課題と感じている	なし	1	-
	あり	0.50(0.27-0.95)	0.034
管理栄養士の栄養ケア・マネジメントに関する知識や技術の不足が課題と感じている	なし	1	-
	あり	0.45(0.23-0.87)	0.018

モデル χ^2 検定 $p < 0.001$

判別的中率 63.7%

表 C-2-5-6 管理栄養士による NCM の取り組み要因① (単変量回帰分析)

		学際的チームアプローチ評価尺度 ^{*)} 得点				オッズ比(95%CI)	p値
		470点未満		470点以上			
		n	%	n	%		
1 「食べることを通じて、チームで入所者一人一人の自己実現をめざしている	できていない	19	11.1%	7	4.1%	1	-
	できている	67	39.2%	78	45.6%	3.84(1.48-9.97)	0.006
2 栄養ケア・マネジメントの成果として栄養ケア計画に設定された本人の要望が最も重要な目標であるという認識が広まっている	できていない	35	20.5%	21	12.3%	1	-
	できている	50	29.2%	64	37.4%	2.24(1.15-4.35)	0.018
3 施設長は、医師、管理栄養士、看護師及び介護支援専門員その他の職種が協働して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備している	できていない	19	11.1%	4	2.3%	1	-
	できている	67	39.2%	81	47.4%	7.22(2.28-22.92)	0.001
4 施設における栄養ケア・マネジメントに関する手順(栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケア計画、モニタリング、評価等)をあらかじめ定めている	できていない	7	4.1%	4	2.3%	1	-
	できている	79	46.2%	80	46.8%	1.86(0.52-6.68)	0.340
5 管理栄養士は、入所者への適切な栄養ケアを効率的に提供できるよう関連職種の連絡調整を実施している	できていない	9	5.3%	1	0.6%	1	-
	できている	77	45.0%	83	48.5%	10.19(1.25-82.96)	0.030
6 管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントの推進に責任とやりがいを感じている	できていない	15	8.8%	4	2.3%	1	-
	できている	71	41.5%	81	47.4%	4.42(1.39-14.05)	0.012
7 管理栄養士は、多職種に対して栄養ケア・マネジメントの理解や協力が得られるよう積極的な働きかけを行っている	できていない	29	17.0%	16	9.4%	1	-
	できている	56	32.7%	69	40.4%	2.47(1.20-5.08)	0.014
8 管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントを実践する上で必要な施設内外の研修や研究会へ積極的に参加している	できていない	25	14.6%	20	11.7%	1	-
	できている	61	35.7%	65	38.0%	1.29(0.65-2.58)	0.465
9 摂食・嚥下機能を評価し、チームで栄養ケア・マネジメントに取り組んでいる	できていない	33	19.3%	18	10.5%	1	-
	できている	52	30.4%	67	39.2%	2.62(1.31-5.27)	0.007
10 認知症の食関連周辺症状をアセスメントし、チームで食べることを支援している	できていない	32	18.7%	20	11.7%	1	-
	できている	53	31.0%	65	38.0%	2.18(1.10-4.32)	0.026
11 エンド・オブ・ライフにある高齢者に対してチームで食べることを支援している	できていない	24	14.0%	15	8.8%	1	-
	できている	62	36.3%	69	40.4%	1.91(0.91-4.02)	0.087
12 管理栄養士は、食事の提供にあたり、給食業務の実際の責任者としての役割を担う者(管理栄養士、栄養士、調理師等)に対して、栄養ケア計画に基づいた個別対応した	できていない	11	6.4%	10	5.8%	1	-
	できている	75	43.9%	75	43.9%	1.33(0.52-3.41)	0.559
13 管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントに関して他職種の理解が深まるように説明や指導をし、連携に寄与している	できていない	33	19.3%	14	8.2%	1	-
	できている	52	30.4%	71	41.5%	3.71(1.76-7.83)	0.001
14 管理栄養士は、利用者の入所・退所先の病院・施設、在宅サービス事業所等と栄養ケア・マネジメントに関する情報の連携をしている	できていない	63	36.8%	47	27.5%	1	-
	できている	23	13.5%	38	22.2%	2.52(1.30-4.91)	0.006
15 介護支援専門員あるいは管理栄養士は、入所者の入所後遅くとも1週間以内に、関連職種と協働して低栄養状態のリスクを把握している	できていない	10	5.8%	9	5.3%	1	-
	できている	76	44.4%	76	44.4%	1.16(0.44-3.04)	0.764
16 栄養スクリーニングに基づき、低リスク者と判断された場合は、3ヶ月毎に再スクリーニングを行っている	できていない	7	4.1%	4	2.3%	1	-
	できている	79	46.2%	81	47.4%	2.38(0.65-8.75)	0.191
17 管理栄養士は栄養スクリーニングを踏まえ、入所者ごとのアセスメントを行い解決すべき課題を明らかにしている	できていない	5	2.9%	0	0.0%	1	-
	できている	81	47.4%	84	49.1%	-	0.999
18 管理栄養士は入所者の食事場면을定期的に観察し、解決すべき課題を把握している	できていない	9	5.3%	5	2.9%	1	-
	できている	77	45.0%	80	46.8%	1.70(0.54-5.36)	0.368
19 管理栄養士は、食事記録以外の他職種の記録(介護・看護日誌、排便記録、薬処方箋等)から、解決すべき課題を把握している	できていない	28	16.4%	18	10.5%	1	-
	できている	58	33.9%	67	39.2%	1.79(0.89-3.58)	0.100
20 管理栄養士は、他職種から食べることに関わる情報を聴取し、解決すべき課題を把握している	できていない	4	2.3%	1	0.6%	1	-
	できている	82	48.0%	84	49.1%	4.26(0.46-39.41)	0.201

表 C-2-5-7 管理栄養士による NCM の取り組み要因②（単変量回帰分析）

		学際的チームアプローチ評価尺度*得点				オッズ比(95%CI)	p値	
		470点未満		470点以上				
		n	%	n	%			
21	管理栄養士は、栄養ケア計画の作成にあたり、個別の栄養補給量（エネルギー、たんぱく質、水分等）を算出し個別の食事補給計画を文章化している	できていない	18	10.5%	9	5.3%	1	-
		できている	68	39.8%	76	44.4%	2.37(0.99-5.69)	0.053
22	管理栄養士は、必要に応じて栄養相談について文章化をしている	できていない	42	24.6%	29	17.0%	1	-
		できている	44	25.7%	56	32.7%	1.95(1.04-3.65)	0.037
23	管理栄養士は、栄養ケア計画の作成にあたり、課題解決のための関連職種との負担について文章化している	できていない	37	21.6%	22	12.9%	1	-
		できている	48	28.1%	63	36.8%	2.28(1.18-4.39)	0.014
24	管理栄養士は、問題の解決をはかるために関連職種が協働できる栄養ケア計画を作成している	できていない	18	10.5%	7	4.1%	1	-
		できている	68	39.8%	78	45.6%	3.39(1.31-8.79)	0.012
25	管理栄養士は、サービス担当者会議(入所者に対する施設サービスの提供に当たる担当者の会議)に出席し、関連職種との話し合いのもと、栄養ケア計画を完成させている	できていない	16	9.4%	9	5.3%	1	-
		できている	70	40.9%	76	44.4%	2.33(0.94-5.78)	0.068
26	介護支援専門員あるいは管理栄養士は、サービスの提供に際して、施設サービス計画に併せて、栄養ケア計画を入所者または家族に説明し、サービス提供に関する同意を得ている	できていない	6	3.5%	0	0.0%	1	-
		できている	80	46.8%	85	49.7%	-	0.999
27	管理栄養士は、栄養ケア計画に基づいて担当者が、栄養ケア計画に基づいたサービスの提供を行っていることを確認している	できていない	20	11.7%	13	7.6%	1	-
		できている	66	38.6%	72	42.1%	1.97(0.89-4.39)	0.097
28	栄養ケア計画の実施過程において、問題の把握を行い、問題があれば随時多職種と連携し、問題の解決や計画の修正を行っている	できていない	10	5.8%	3	1.8%	1	-
		できている	76	44.4%	82	48.0%	4.19(1.09-16.11)	0.037
29	管理栄養士は、食事に関するインシデント・アクシデントの事例等の把握をしている	できていない	23	13.5%	17	9.9%	1	-
		できている	62	36.3%	66	38.6%	1.63(0.78-3.39)	0.195
30	モニタリングは、低栄養状態の高リスク者及び栄養補給法の移行の必要性がある者の場合には、2週間毎等適宜行っている	できていない	22	12.9%	20	11.7%	1	-
		できている	64	37.4%	65	38.0%	1.16(0.58-2.36)	0.672
31	栄養スクリーニングに基づき、低リスク者と判断された場合でも、体重は1ヶ月毎に把握している	できていない	1	0.6%	1	0.6%	1	-
		できている	85	49.7%	84	49.1%	0.96(0.06-15.91)	0.976
32	低栄養状態の把握に必要な食事摂取量の低下等の変化などを、日常的にモニタリングし、問題があれば対応をしている	できていない	4	2.3%	2	1.2%	1	-
		できている	82	48.0%	83	48.5%	2.16(0.38-12.30)	0.384
33	管理栄養士は、栄養ケア提供の経過記録表を作成している	できていない	15	8.8%	12	7.0%	1	-
		できている	71	41.5%	73	42.7%	1.38(0.60-3.19)	0.452
34	利用者特性、BMI、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量等をエクセル等の電子ファイルでデータベース化している	できていない	29	17.0%	23	13.5%	1	-
		できている	55	32.2%	62	36.3%	1.37(0.70-2.65)	0.355
35	管理栄養士は、上記の栄養リスクの項目について、定期的集計し評価している	できていない	27	15.8%	12	7.0%	1	-
		できている	58	33.9%	72	42.1%	2.75(1.28-5.92)	0.010
36	管理栄養士は、入所者の生活機能・身体機能、主観的健康感、栄養ケアに対する満足度等の変化を評価し、記録している	できていない	45	26.3%	35	20.5%	1	-
		できている	41	24.0%	49	28.7%	1.66(0.89-3.09)	0.108
37	栄養ケア・マネジメント体制に基づくサービスを総合的に評価し、その構造、手順および成果等の課題について多職種で話し合っている	できていない	46	26.9%	34	19.9%	1	-
		できている	39	22.8%	51	29.8%	1.98(1.05-3.71)	0.034
38	栄養ケア・マネジメント体制に関して多職種協働で話し合った内容を記録(文章化)し、継続的な品質改善活動に努めている	できていない	41	24.0%	30	17.5%	1	-
		できている	44	25.7%	55	32.2%	1.91(1.01-3.61)	0.046